

デーヴォ ガイド



2022.8.8-14

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

4:1 人は、その妻エバを知った。彼女は身ごもってカインを産み、「私は、【主】によって一人の男子を得た」と言った。

4:2 彼女はまた、その弟アベルを産んだ。アベルは羊を飼う者となり、カインは大地を耕す者となった。

4:3 しばらく時間が過ぎて、カインは大地の実りを【主】へのささげ物として持って来た。

4:4 アベルもまた、自分の羊の初子の中から、肥えたものを持って来た。【主】はアベルとそのささげ物に目を留められた。

4:5 しかし、カインとそのささげ物には目を留められなかった。それでカインは激しく怒り、顔を伏せた。

4:6 【主】はカインに言われた。「なぜ、あなたは怒っているのか。なぜ顔を伏せているのか。」

4:7 もしあなたが良いことをしているのなら、受け入れられる。しかし、もし良いことをしていないのであれば、戸口で罪が待ち伏せている。罪はあなたを恋い慕うが、あなたはそれを治めなければならない。」

4:8 カインは弟アベルを誘い出した。二人が野にいたとき、カインは弟アベルに襲いかかって殺した。

4:9 【主】はカインに言われた。「あなたの弟アベルは、どこにいるのか。」カインは言った。「私は知りません。私は弟の番人なのでしょう。」

4:10 主は言われた。「いったい、あなたは何ということをしたのか。声がする。あなたの弟の血が、その大地からわたしに向かって叫

んでいる。

4:11 今や、あなたはのろわれている。そして、口を開けてあなたの手から弟の血を受けた大地から、あなたは追い出される。

4:12 あなたが耕しても、大地はもはや、あなたのために作物を生じさせない。あなたは地上をさまよい歩かずすらい人となる。」

4:13 カインは【主】に言った。「私の咎は大きすぎて、負いきれません。」

4:14 あなたが、今日、私を大地の面から追い出されたので、私はあなたの御顔を避けて隠れ、地上をさまよい歩かずすらい人となります。私を見つけた人は、だれでも私を殺すでしょう。」

4:15 【主】は彼に言われた。「それゆえ、わたしは言う。だれであれ、カインを殺す者は七倍の復讐を受ける。」【主】は、彼を見つけた人が、だれも彼を打ち殺すことのないように、カインに一つのしるしをつけられた。

罪とは、神中心に善悪を判断しないで、自分中心に決めるところから始まります。ただ木の実を食べたということではありません。自分中心ということは、他の人は脇であり二の次ということで、結局自分のために全てが存在するような価値基準になってしまうのです。

その最も悲惨な結果は「あの人がいなければよい」という思いであり、その最後は人殺しです。カインが求めたことは、自分の評価です。自分が認められないとき、評価されないとき、実績が得られないとき、評価されてほめられている人間を見ると、妬ましくなりそして憎らしくなるのです。私たちは自分を見つめなければなりません。

神の評価についても記されています。能力や実

績ではなく、最良のささげ物をしているかどうか…それだけです。

自分が良くみられたい、尊重されたいとの思いに囚われると、思いがけない罪にはまるがあります。ただ神にほめられましょう。それは最良のものをささげることです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたの中の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9日 火曜

創世記



人々は【主】の名を呼ぶことを始めた

4:16 カインは【主】の前から出て行って、エデンの東、ノデの地に住んだ。
4:17 カインはその妻を知った。彼女は身ごもってエノクを産んだ。カインは町を建てていたので、息子の名にちなんで、その町をエノクと名づけた。
4:18 エノクにはイラデが生まれた。イラデはメフヤエルを生み、メフヤエルはメトシャエルを生み、メトシャエルはレメクを生んだ。
4:19 レメクは二人の妻を迎えた。一人の名はアダ、もう一人の名はツィラであった。
4:20 アダはヤバルを産んだ。ヤバルは天幕に住む者、家畜を飼う者の先祖となった。
4:21 その弟の名はユバルであった。彼は竖琴と笛を奏でるすべての者の先祖となった。
4:22 一方、ツィラはトバル・カインを産んだ。彼は青銅と鉄のあらゆる道具を造る者であった。トバル・カインの妹はナアマであった。
4:23 レメクは妻たちに言った。「アダとツィラよ、私の声を聞け。レメクの妻たちよ、私の言うことに耳を傾けよ。私は一人の男を、私が受ける傷のために殺す。一人の子どもを、私が受ける打ち傷のために。」
4:24 カインに七倍の復讐があるなら、レメクには七十七倍。」
4:25 アダムは再び妻を知った。彼女は男の子を産み、その子をセツと名づけた。カインがアベルを殺したので、彼女は「神が、アベルの代わりに別の子孫を私に授けてくださいました」と言った。
4:26 セツにもまた、男の子が生まれた。セツは彼の名をエノシュと呼んだ。そのころ、

アダムとエバの両親は神に従わずに、神から離れてしまいましたが、それが子どもたち、孫たちに影響してゆきます。レメクは一夫多妻制の始まりで、すでに創造の秩序を犯しています。畜産、音楽、製鉄などが始まりましたが、それらもレメクの霊的影響の中で育った子たちによるものでした。やがてその神なき文化はバベルの塔のように、神を凌いでやろうという野心になってしまったのです。

またレメクの価値観は「強いことが良い」というもので、復讐と殺人を誇るものです。今日も、他人を不幸にしても、自分の強さを誇る人が大勢いますが、神を恐れぬ価値観そのものです。

しかし、アベルの信仰の流れもありました。セツとエノシュです。信仰によって育てられた人々は祈ることを始めました。

両親の信仰は大切です。ただ神を知っているというだけ、クリスチャンであるというだけでなく、本当に神に従っているかが重要なのです。家族、家系に与えられた恵に感謝して、信仰を大切に、神中心の文化、生き方を伝えていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたなどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶10日 水曜

創世記



- 5:1 これはアダムの歴史の記録である。神は、人を創造したとき、神の似姿として人を造り、
- 5:2 男と女に彼らを創造された。彼らが創造された日に、神は彼らを祝福して、彼らの名を「人」と呼ばれた。
- 5:3 アダムは百三十年生きて、彼の似姿として、彼のかたちに男の子を生んだ。彼はその子をセツと名づけた。
- 5:4 セツを生んでからのアダムの生涯は八百年で、彼は息子たち、娘たちを生んだ。
- 5:5 アダムが生きた全生涯は九百三十年であった。こうして彼は死んだ。
- 5:6 セツは百五年生きて、エノシュを生んだ。
- 5:7 セツはエノシュを生んでから八百七年生き、息子たち、娘たちを生んだ。
- 5:8 セツの全生涯は九百十二年であった。こうして彼は死んだ。
- 5:9 エノシュは九十年生きて、ケナンを生んだ。
- 5:10 エノシュはケナンを生んでから八百十五年生き、息子たち、娘たちを生んだ。
- 5:11 エノシュの全生涯は九百五年であった。こうして彼は死んだ。
- 5:12 ケナンは七十年生きて、マハラルエルを生んだ。
- 5:13 ケナンはマハラルエルを生んでから八百四十年生き、息子たち、娘たちを生んだ。
- 5:14 ケナンの全生涯は九百十年であった。こうして彼は死んだ。
- 5:15 マハラルエルは六十五年生きて、ヤレデを生んだ。

- 5:16 マハラルエルはヤレデを生んでから八百三十年生き、息子たち、娘たちを生んだ。
- 5:17 マハラルエルの全生涯は八百九十五年であった。こうして彼は死んだ。
- 5:18 ヤレデは百六十二年生きて、エノクを生んだ。
- 5:19 ヤレデはエノクを生んでから八百年生き、息子たち、娘たちを生んだ。
- 5:20 ヤレデの全生涯は九百六十二年であった。こうして彼は死んだ。
- 5:21 エノクは六十五年生きて、メトシェラを生んだ。
- 5:22 エノクはメトシェラを生んでから三百年、神とともに歩み、息子たち、娘たちを生んだ。
- 5:23 エノクの全生涯は三百六十五年であった。
- 5:24 エノクは神とともに歩んだ。神が彼を取られたので、彼はいなくなった。
- 5:25 メトシェラは百八十七年生きて、レメクを生んだ。
- 5:26 メトシェラはレメクを生んでから七百八十二年生き、息子たち、娘たちを生んだ。
- 5:27 メトシェラの全生涯は九百六十九年であった。こうして彼は死んだ。
- 5:28 レメクは百八十二年生きて、一人の男の子を生んだ。
- 5:29 彼はその子をノアと名づけて言った。「この子は、【主】がのろわれたこの地での、私たちの働きと手の労苦から、私たちに慰めてくれるだろう。」
- 5:30 レメクはノアを生んでから五百九十五年生きて、息子たち、娘たちを生んだ。
- 5:31 レメクの全生涯は七百七十七年であった。こうして彼は死んだ。

5:32 ノアは五百歳になった。そしてノアはセム、ハム、ヤフェテを生んだ。

当時は地球環境が今と違っていて長生きができたという説があります。後の大雨でオゾン層が破壊されたというのですが、証明されてはいません。またこれら千年に近い寿命で、個人の寿命ではなく、直系の血筋が続いた年数と考える学者もいます。個人の寿命なら、ノアの時代にまだアダムが生きていたことになってしまうからです。または別の数え方があったのかもしれませんが。私たちはどれが正しいのかはわかりません。ただ、ここから神様のメッセージを聞くべきです。

死んだということばが非常に多く、どんなに長生きであったとしても、人は必ず死ぬ…これが罪の結果です。エノクは神とともに歩んだで、神が取られたので…とあります。死を経ずして天に引き上げられたと思われる。すばらしい信仰の証ですが、それはメトシェラが生まれた後です。親となることは信仰が成熟するためのチャンスであるといわれます。肉の子どもだけでなく、霊の子ども、すなわち救いと成長に導いた人も子どもです。そのような親の経験が私たちを成熟させるのです。主の弟子となり、次の弟子を親として育てましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

6:1 さて、人が大地の面に増え始め、娘たちが彼らに生まれたとき、
6:2 神の子らは、人の娘たちが美しいのを見て、それぞれ自分が選んだ者を妻とした。
6:3 そこで、【主】は言われた。「わたしの霊は、人のうちに永久にとどまることはない。人は肉にすぎないからだ。だから、人の齢は百二十年にしよう。」
6:4 神の子らが人の娘たちのところに入り、彼らに子ができたそのころ、またその後も、ネフィリムが地にいた。彼らは昔からの勇士であり、名のある者たちであった。
6:5 【主】は、地上に人の悪が増大し、その心に凶ることがみな、いつも悪に傾くのをご覧になった。
6:6 それで【主】は、地上に人を造ったことを悔やみ、心を痛められた。
6:7 そして【主】は言われた。「わたしが創造した人を地の面から消し去ろう。人をはじめ、家畜や這うもの、空の鳥に至るまで。わたしは、これらを造ったことを悔やむ。」
6:8 しかし、ノアは【主】の心になつていった。
6:9 これはノアの歴史である。ノアは正しい人で、彼の世代の中であって全き人であった。ノアは神とともに歩んだ。
6:10 ノアは三人の息子、セム、ハム、ヤフェテを生んだ。

見えるところの魅力だけで結婚を決めてしまう価値基準が表されています。神の子らとは神を信じる人々、人の娘とはそれに反して神に従わない人々です。前者はセツの家系、後者はカインの家系と考え

られています。結婚など一生の大切な決断に際して神への信仰がないがしろにされるようになってきたのです。

その結果、地上の人々はみな悪いことに心が傾くようになってしまいました。信仰者が塩味を失った状態であり、それによって世の中が腐敗してしまっただけです。神様はさばきを決断なさいましたが、神の意思の前ではネフィリムのような勇士でも無力であるということです。

人は神様から自由意志が与えられていますが、神様は誰を守り助けるかに関しては、当然決定権を持っておられます。人間は自分の決定によって神との関係が決まるのです。いつまでも人間のわがままが通るのではないことを肝に銘じましょう。

どの時代にもノアのような正しい人が残されています。ノアのように神を信頼し、新しい時代を自ら切り開いてゆく気構えを持ちましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



12日 金曜

創世記



6:11 地は神の前に墮落し、地は暴虐で満ちていた。

6:12 神が地をご覧になると、見よ、それは墮落していた。すべての肉なるものが、地上で自分の道を乱していたからである。

6:13 神はノアに仰せられた。「すべての肉なるものの終わりが、わたしの前に来ようとしている。地は、彼らのゆえに、暴虐で満ちているからだ。見よ、わたしは彼らを地とともに滅ぼし去る。

6:14 あなたは自分のために、ゴフェルの木で箱舟を造りなさい。箱舟に部屋を作り、内と外にタールを塗りなさい。

6:15 それを次のようにして造りなさい。箱舟の長さは三百キュビト。幅は五十キュビト。高さは三十キュビト。

6:16 箱舟に天窓を作り、上部から一キュビト以内に天窓を仕上げなさい。また、箱舟の戸口をその側面に設け、箱舟を一階と二階と三階に分けなさい。

6:17 わたしは、今、いのちの息のあるすべての肉なるものを天の下から滅ぼし去るために、地上に大水を、大洪水をもたらそうとしている。地上のすべてのものは死に絶える。

6:18 しかし、わたしはあなたと契約を結ぶ。あなたは、息子たち、妻、それに息子たちの妻とともに箱舟に入りなさい。

6:19 また、すべての生き物、すべての肉なるものの中から、それぞれ二匹ずつを箱舟に連れて入り、あなたとともに生き残るようにしなさい。それらは雄と雌でなければならない。

6:20 鳥は種類ごとに、動物も種類ごとに、ま

た地面を這うすべてのものも種類ごとに、それぞれ二匹ずつが生き残れるよう、あなたのところに来なければならない。

6:21 あなたは、食べられるあらゆるものから採って、自分のところに集め、あなたとそれらの動物のための食物としなさい。」

6:22 ノアは、すべて神が命じられたとおりにし、そのように行った。

アダムとエバが神様に背いて、自分で善悪を判断しようとしたことは、結局その子どもが殺人を犯し、さらには子孫が広がった後に、墮落と暴虐という結果になってしまいました。

これは神様の初めての大規模なさばきです。主がなる神様が地のあらゆるものに対して権限をお持ちであるのです。それを常に心に留めましょう。

またこれは救いを表すひな型でもあります。箱舟とは滅びから免れるもの、すなわちイエス様を信じる信仰を表します。やがてもたらされる天地万物のさばきのときにも、十字架の身代わりによって罪赦されていることは、まさにこの箱舟のように、安心なことなのです。

神様は地上においてさばかれるときに、あわれみの希望を残してください。動物たちは神の希望です。ノアはその神に絶対の信頼を持っていましたから、まだ全貌がわからないうちから、「すべて神が命じられたとおりに」従いました。大切なのはすべて従うということです。手を抜いていたら、あの洪水には持ちこたえられなかったのです。

神のあわれみを知って、その御心をすべて行いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7:1 【主】はノアに言われた。「あなたとあなたの全家は、箱舟に入りなさい。この世代の中であって、あなたがわたしの前に正しいことが分かったからである。

7:2 あなたは、すべてのきよい動物の中から雄と雌を七つがいずつ、きよくない動物の中から雄と雌を一つがいずつ、

7:3 また空の鳥の中からも雄と雌を七つがいずつ取りなさい。それらの種類が全地の面で生き残るためである。

7:4 あと七日たつと、わたしは、地の上に四十日四十夜、雨を降らせ、わたしが造ったすべての生けるものを大地の面から消し去る。」

7:5 ノアは、すべて【主】が彼に命じられたとおりにした。

7:6 ノアは六百歳であったが、そのときに大洪水が起こり、大水は地の上にあった。

7:7 ノアは息子たちや自分の妻、それに息子たちの妻とともに、大洪水の大水を避けるために箱舟に入った。

7:8 きよい動物、きよくない動物、鳥、地面を這うすべてのものの中から、

7:9 雄と雌がつがいになって箱舟の中のノアのところにやって来た。神がノアに命じられたとおりであった。

7:10 七日たつと、大洪水の大水が地の上に生じた。

7:11 ノアの生涯の六百年目の第二の月の十七日、その日に、大いなる淵の源がことごとく裂け、天の水門が開かれた。

7:12 大雨は四十日四十夜、地に降り続いた。

洪水になる前に、さらには雨が降る前に箱舟を準備し中に入ることは、神に従順でなければできないことです。いざ洪水が起こってからではもう遅いのです。ここに信仰の備えがあります。

きよい動物だけでなく、きよくないものも箱舟に入れたのは、後にそれらからきよさと汚れを学ぶためです。悪いと思われるものも、人の成長のためには必要なこともあるのです。

ノアの洪水を考古学的に調べた学者は大勢います。古代の記録に大洪水の記録が多数発見されていますし、中東あたりの地層からも未曾有の大洪水があったことを示すものがあります。聖書は現実起こったことです。またこれからも神様はみわざを起こされます。神は現実に働かれるのです。

ノアの信仰から学び、やがて来るさばきのためには十字架の救いという永遠の箱舟に乗っていることを感謝し、また愛する人々をこの箱舟に誘いつつ、主のみこころをすべて従順に行いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？





7:13 ちょうどその日に、ノアは、息子たちのセム、ハム、ヤフェテ、またノアの妻と、息子たちの三人の妻とともに、箱舟に入った。

7:14 彼らとともに、種類ごとにあらゆる獣、種類ごとにあらゆる家畜、種類ごとにあらゆる地の上を這うもの、種類ごとにあらゆる飛ぶもの、鳥や翼のあるものすべてが箱舟に入った。

7:15 こうして、いのちの息のあるすべての肉なるものが、二匹ずつノアのいる箱舟の中に入った。

7:16 入ったものは、すべての肉なるものの雄と雌であった。それらは、神がノアに命じられたとおりに入った。それから、【主】は彼のうしろの戸を閉ざされた。

7:17 大洪水は四十日間、地の上にあった。水かさが増して箱舟を押し上げたので、それは地から浮き上がった。

7:18 水がみなぎり、地の上に大いに増し、箱舟は水面を漂った。

7:19 水は地の上にますますみなぎり、天の下にある高い山々もすべておおわれた。

7:20 水は、その上さらに十五キュビト増し加わり、山々はおおわれた。

7:21 こうして、地の上を動き回るすべての肉なるものは、鳥も家畜も獣も地に群がるすべてのものも、またすべての人も死に絶えた。

7:22 いのちの息を吹き込まれたもので、乾いた地の上にいたものは、みな死んだ。

7:23 こうして、主は地の上の生けるものすべてを、人をはじめ、動物、這うもの、空の鳥に至るまで消し去られた。それらは地から消

し去られ、ただノアと、彼とともに箱舟にいたものたちだけが残った。

7:24 水は百五十日間、地の上に増し続けた。

ノアの洪水を地球規模であると考えられる人もいますし、またメソポタミアにおける地上であると考えられる人もいますが、聖書は考古学や地学の書物ではなく、信仰の書ですからどちらも可能性があります。いずれにしても宇宙の創造者である全能の神が行うなら、地球全体を洪水にすることはたやすいことです。

私たちはここから信仰の教えを聞く必要があります。箱舟はまさに救いのひな型です。第一に、救いは選びであり、それに応答する必要があるということです。ノアと家族は選ばれ、そして応答したのです。第二に、信仰の決断の後にさばきが来るとのことです。「今は救いなど、神など必要ない」とは言っていられないのです。第三に、救いのチャンスは限られているということです。主が戸を閉ざしてしまうなら、どんなに入ろうとしても、入れてあげたくとも、もうどうにもならないのです。さばきとはそういうものだからです。

ノアが人々にどのような話をしたか、書かれていませんからノアから学ぶことはできませんが、少なくとも私たちは、「みことばを宣べ伝えなさい。時がよくても悪くてもしっかりとやりなさい。」とされているのですから、「しっかりと」とやりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

